



富良野医師会 60周年記念誌 発刊を祝して

北海道医師会 会長 松家 治道

一般社団法人富良野医師会の60周年記念誌が発刊されますことに、心からお祝いを申し上げます。

貴会の歩みを振り返りますと、昭和25年「上川郡医師会」から「上川郡中央医師会」が分離独立したことに始まり、昭和42年には地域に深く根ざした「富良野医師会」へと名称をあらため、新たな一歩を踏み出されました。その後、平成25年の新公益法人制度に伴い「一般社団法人富良野医師会」へと移行され、今日に至るまで、地域の保健・医療・福祉の向上に多大なる足跡を残してこられました。この節目の年に、これまでの歩みと功績をまとめた60周年記念誌が刊行されますことは、誠に意義深いことであります。

60年という歳月は決して平坦なものではなかったと推察いたします。この間、歴代会長をはじめ役員、会員ならびに事務局職員の皆様方は、地域医療を担う医師の連携を図りながら、地域住民の保健・医療・福祉の向上という重要な使命に真摯に向き合ってこられました。医療制度改革や社会情勢の変化、人口構造の変容など、その時代ごとに生じる課題に対し、強い使命感と揺るぎない信念をもって取り組み、多くの困難を乗り越えてこられた先達のご尽力に、深甚なる敬意と感謝を表します。

富良野地域は北海道を代表する観光ブランドとして国内外に広く知られております。雄大な自然景観やラベンダー畑に象徴される美しい風土は、四季を通じて多くの観光客を魅了し続けています。その一方で、突発的な急病や交通事故への対応など、地域医療には高度な救急医療体制の整備が求められ、特段の知恵と労力が注がれてきたことと存じます。地域センター病院である北海道社会事業協会富良野病院を中核として、地域内の医療機関が緊密に連携する救急医療体制を確立・維持されていることに加え、令和6年3月には地域医療連携推進法人ふらのメディカルアライアンスを立ち上げるなど、住民のみならず、この地を訪れるすべての人々にとって大きな安心の拠り所となっており、地域の安全を守る上で多大な貢献をされております。

それらを大切に受け継がれ、日々地道に尽力しておられます小山内会長をはじめ役員並びに会員の皆様に対しましても、心から敬意と感謝の意を表します。

医師会を取り巻く環境は、国や北海道の医療政策の変革、さらには少子高齢化や地域経済の変動などにより、日々その重要性和責務が増大しております。この激動の時代において、過去の軌跡を正しく検証し、後世に正しく伝えることは極めて重要なことであり、編纂にご尽力いただいた関係各位のお取り組みに対し、深く敬意を表します。

次の10年、20年に向けて、富良野医師会が地域の健康を守る中心として、さらに力強く歩まれることを願っております。



富良野医師会 60周年を祝して

北海道保険医会 会長 橋 本 透

富良野医師会創立 60 周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。これまで長年にわたり富良野圏域の医療充実と住民の健康保持に献身的に取り組んでこられました歴代会長をはじめ、役員並びに会員の皆様のご尽力に対し、衷心より敬意を表します。

本会と富良野医師会におきましては、元富良野医師会長の高橋尚志先生のご尽力のもと、平成 7 年に富良野地区支部を設立して以降、初代支部長の小杉英之先生をはじめ、井上昭男先生、川村五郎先生、渋江久先生へと支部長職が引き継がれ、現在は川村大介先生が支部長として本会の発展に多大なるご貢献をいただいております。ここに改めて深く感謝申し上げます。

さて、今日の医療を取り巻く環境は、物価高騰や人件費の上昇、医療従事者不足の深刻化などにより、かつてない厳しさに直面しております。とりわけ地域医療の現場では、診療報酬が実態に十分見合っておらず、医療機関の経営基盤の脆弱化が進み、その持続可能性が強く問われております。こうした状況は、地域住民にとって不可欠な医療提供体制の維持そのものに影響を及ぼしかねない重大な問題であります。

本会は、すべての国民が、いつでも、どこでも、安心して医療を受けられる国民皆保険制度の堅持と、保険医の生活と権利を守り医業経営の改善に取り組んでまいりました。今後も、医療現場の切実な声を政府の政策に反映させるため、医師会の皆様との連携を一層強化しながら、諸課題の解決に向けて努力を重ねてまいる所存です。

60 年という節目は、これまでの歩みを礎に新たな時代への一步を踏み出す重要な機会であります。富良野医師会におかれましては、これまで培われてきた地域に根差した活動と連携の力をさらに発展させ、今後も地域住民の健康と命を守る中核的な役割を担われることを心よりご期待申し上げます。

結びに、富良野医師会の今後ますますのご発展と、会員各位のご健勝並びにご活躍を祈念申し上げます。祝辞といたします。



富良野医師会創立 60周年を祝して

北海道富良野保健所 室長 高垣 正計

富良野医師会が創立 60 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

富良野医師会が創立された昭和 42 年（1967 年）といえば、日本の人口が1億人を突破し、医療技術の進歩や栄養状態の改善、衛生環境の向上により、平均寿命が急速に伸びていた時期でもあります。同時に、人口の高齢化や都市への集中化が問題視されるようになった頃でもあります。それから 60 年もの永きにわたり、医師会の皆様には、ひとえに地域医療の向上に御尽力されてこられたことに、歴代の会長をはじめ、会員の皆様に深く敬意を表します。

さて、現在、国内は少子高齢化が進み、地方は人口減少による地域経済の縮小や生産年齢人口減少による労働力不足（人手不足）、高齢化に伴う要介護者の増加などが課題となっています。医療の現場でも、外来・入院患者の減少、高齢者の救急搬送の増加など、少子高齢化による受療状況の変化が起きております。

また、令和 2 年（2020 年）に始まった新型コロナウイルス感染症の発生・感染拡大は、我が国の医療提供体制にも影響を与え、救急医療を始め、地域医療の様々な課題が浮き彫りとなり、地域における医療機能の分化・連携や適切な役割分担の下で必要な医療を提供することの重要性が改めて認識されたところです。

そのような状況において、富良野医師会におかれましては、医療資源や人材が限られるなか、地域特性にあわせた医療の向上にひとかたならぬ御尽力をいただき、また地域では、令和 6 年（2024 年）3 月には、富良野圏域における医療機関の開設者や介護事業を行う者が一体となり、地域の限られた資源を効果的かつ効率的に活用しながら、相互間の役割分担及び業務連携を進めるため、「地域医療連携推進法人ふらのメディカルアライアンス」が設立されるなど、住民が将来にわたり住み慣れた地域で必要な医療サービス等を受けられる体制の構築に向けた取組みが富良野圏域で着実に進められております。

道としましても、地域のニーズに応え、地域の実情に即した医療提供体制の整備を図るためには、医師会の皆様の御理解と御協力を頂きながら地域の関係団体・関係者と連携し進めていくことが必要でございますので、今後とも、一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

最後に、富良野医師会が、この輝かしい 60 周年を礎として、今後ますますのご発展を遂げられますとともに、会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げまして、お祝いの言葉といたします。



富良野医師会創立 60周年を祝して

富良野圏域連携協議会 会長 北 猛 俊
富良野市長

富良野医師会の皆様におかれましては、創立 60 周年という記念すべき節目を迎えられましたことを、心からお慶び申し上げます。また、長年にわたり、地域医療の最前線で市民の健康と安心を守るため、多大なるご尽力をいただいておりますことに対し、深く敬意と感謝の意を表します。

これまでの歩みといたしまして、明治 41 年に設立された上川郡医師会に始まり、昭和 42 年に現在の富良野医師会が設立され、この度 60 年の歴史を刻まれることとなりました。半世紀を超えてなお、常に地域医療の要として支え続けてこられた皆様の功績は、計り知れないものがあります。

住民が住み慣れたこの地で、生涯を通じて健やかに、そして安心して暮らし続けることは、私たちが目指す理想の社会そのものです。それを支えているのは、どんな時も変わることなく医療の提供を続けてこられた、医師会会員の皆様の献身的なご努力に他なりません。特に、夜間・休日における救急医療体制の維持や、予防接種実施による感染症対策、さらには平時における日常診療に至るまで、圏域医療機関を統括する医師会の皆様が果たしてこられた役割は、富良野の地域社会の存立基盤そのものであります。

現在、我が国においては少子高齢化の進展や医療ニーズの多様化が大きな課題となっております。ここ富良野市においても、医師の高齢化や地域医療を支える医師の確保といった課題に対し、決して楽観視できない状況が続いております。このような中で、地域センター病院である富良野協会病院と医師会の皆様が密接に連携し、医療体制の維持・確保に努めてこられたことは、地域住民にとって何よりの安心材料であり、信頼の証であります。

富良野市といたしましても、持続可能な地域医療体制を築くべく、医師確保対策として地域センター病院への医師確保対策補助、将来を担う医学生への修学資金貸付など、全力を挙げて取り組んでいるところでございます。今後も医師会の皆様と緊密に連携を深め、医療提供体制のさらなる充実を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進してまいります。

60 周年という節目は、これまでの歴史を次世代へと継承し、新たな 10 年、20 年先を見据える絶好の機会でもあります。変化する時代のニーズを的確に捉え、これからも地域医療の灯を守り続けていただきますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、富良野医師会が今後ますます発展され、会員の皆様が健やかに、そしてご活躍されますことを心より祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。